

# 和剣

VOL. 48

2009年 7月 24日

和歌山県スポーツチャンバラ協会  
〒640-8441 和歌山市栄谷535 観音寺  
TEL 073-452-3880  
FAX 073-452-3880

1. 第6回和歌山大会実行委員会（第1回）の結果。

7月18日（土）の標記委員会には、石上、福森、由良、柚岡（太）、安田の5名が出席。開催日時を10月4日の午前10時開会。開催場所は岩出市立市民総合体育館に決定。当日は、大阪スポーツチャンバラ協会が主催の段位審査会と重なりますが、体育館の利用可能日との関係で、このように取り決めました。

2. 第2回大会実行委員会のお知らせ。

8月25日（火）午後7時から、本町道場（福森理事管下）で標記の委員会を行います。大会運営の役割分担、大会進行の具体的な細目を決定する重要会議です。役員と会員はこれに出席できるよう、日程調整をしておいて下さい。

3. 和歌山県協会合宿は取り止め。

第1回合宿（「一泊二日」）を7月25日から26日にかけて、花園村にある「小麦の里」で実施する予定でしたが、参加者数及び交通条件その他の事由で、これを取り止めることにしました。来年の合宿計画の実現に期待しましょう。

4. 有朋館合宿のお知らせ。

8月22日（土）から23日（日）にかけて、有朋館（柚岡顧問館長：大阪協会）が和歌山県湯浅町で実施する合宿への案内状を頂戴しています。詳細は柚岡（太）理事に照会して下さい。

5. 近畿地区・本部主催指導者講習会のお知らせ。

8月30日（日）の午前9時30分から午後3時30分にかけて、栗東市民体育館で田邊哲人会長による標記の講習会が実施されます（既報）。貴重な機会ですので、受講をお勧めします。

6. 合同稽古会（第16回）のお知らせ。

9月19日（土）の午後7時から本町道場で標記の合同稽古会を実施します。  
※7月18日に予定していた第1回研鑽会は、大会実行委員会での討議時間との関係で、これを見送りましたので、今回は、研鑽と研究を取り入れた合同稽古になることを期しています。また、この日は第6回和歌山大会へ向けての最終打ち合わせの機会にもなります。

## ☆関口流柔術★

関口流の本流は紀州関口家に家伝として伝統した。ほかに関口流としては阿波国に剣術を主体とした系統が伝承し、甲州には柔術の伝が明治初期まで残った（関口正統柔術）。また、盛岡藩の諸賞流は関口流の影響を受けている。

鏡山沖右衛門は元禄期（1688～1704）の力士で、第八代将軍吉宗の父光貞時代の御抱えだったらしい。鏡山は関口流柔術を修行した。彼は関口流にあった四（よつ）の取口と「小よく大を制す」の手を加え、独特の相撲を創成した。これが現今の相撲の原形になっている。これによって紀州力士は皆、鏡山の流儀になり、紀州相撲といって尊重されるようになった。現今の力士が仕切りのときに手を土俵に下ろすのも紀州流の形式である。

（小佐野 淳 著 「図説 柔術」 株式会社新紀元社 発行 より 抜粋）